

令和2年2月末、新型コロナウイルス感染拡大防止の「緊急事態宣言」。いきなり学校は休校となった。最悪でも新年度からは大丈夫だろう…と思っていたが、度重なる休校延長により、結局、学校が再開できたのは6月になってからだった。正体不明のウイルス相手では、全ての学校活動を「やらなくて済むならやらない」方向で判断せざるを得なかった。

「3密回避」という、小学校にはあまりにも酷な状態は、私たちの授業や子供同士の関わりを変化させた。「学びを止めない」という国の方針は、パソコンやタブレット端末の個人配布をはじめとする「GIGA スクール」を急加速させる。英語、道德の教科化、プログラミング教育を含む「新学習指導要領」の実施初年度で、大きく舵を切り始めたところに加えて「ICT教育」推進の負荷がかかる。どの学校の校長も「子供の健康・安全、心のケア」と同様に教職員も守らなくてはならないことに苦悩した。

コロナ第3波、変異型ウイルスの発生と、まだまだ with コロナ時代は続くだろうが、私たちは、長瀬の子供たち一人一人の「学びと育ち」を長瀬小独自の方法で確実に保障していく覚悟である。

第2学期終業式も139名の児童全員が元気に登校できたことは、令和2年の成果の一つだと思います。年末年始も「新しい生活様式」に沿いながらも、ゆったりと家庭で過ごせるといいですね。

令和3年も引き続き、保護者・地域の皆様の温かいご理解とご協力を心からお願い申し上げます。